経　済　民　生　常　任　委　員　会　記　録

令和７年11月４日（火）午後０時58分～午後１時18分（第３委員会室）

○出席委員（８名）

委 員 長	斎藤　正臣
副委員長	山田　　裕
委　　員	遠藤　幸一
委　　員	佐藤　　勢
委　　員	尾形　　武
委　　員	小野　京子
委　　員	黒沢　　仁
委　　員	渡辺　敏彦

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案　　件

所管事務調査「国際会議観光都市認定による効果・影響に関する調査」

１　今後の調査の進め方について

２　当局説明の実施について

３　その他

午後０時58分　　開　　議

（斎藤正臣委員長）ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付のとおりです。

初めに、今後の調査の進め方についてを議題といたします。

前回の委員会では、所管事務調査のテーマ等についてご協議をいただきまして、調査テーマを国際会議観光都市認定による効果・影響に関する調査といたしました。

まず、現地調査の実施の有無について協議したいと思うのですけれども、現地調査といいますと、この調査テーマに沿った福島市内の施設を見に行くということになるのですけれども、候補として考

えられる場所といいますと、福島テルサであったりとか、パルセいいざかであったりとかということになってしまうのですが、今さらそれを見るかというようなこともありますし、あとはこのテーマに沿って現地を調査するとなると、現地で管理をされている方にはお話を聞けるとは思うのですけれども、どちらかというとこういったことを誘致する話とかを聞くということになると、現地で管理をされている方はちょっと分からない部分もあるのかななんていうふうに思うこともありまして、現地調査をやったほうがいいのか、やらなくてもいいのかということをまず皆様に率直なご意見をお伺いしたいと思うのですけれども、何かご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

（山田　裕委員）今現地調査はパルセいいざかか福島テルサという話でしたけれども、詳しくは分からないのですよね。これから視察先でいろいろ調査をする際に、まず現状は少なくとも掌握をして、それで調査に行ったほうがさらに深まる、そういう調査ができるのではないかということで、一般的にはパルセいいざかとか分かっているつもりでも、実態をリアルにやっぱり見て話を聞くということも重要だと思うので、私は実施したほうがいいと思います。

（斎藤正臣委員長）ちなみに、どこがいいですか、見に行くとしたら。

（山田　裕委員）それは１か所……

（斎藤正臣委員長）ではなくても全然、時間が許せば。

（山田　裕委員）両方とも。

（斎藤正臣委員長）パルセいいざかと福島テルサということですね。

（山田　裕委員）はい。

（斎藤正臣委員長）県の施設は見れないのですよね。

（書記）基本的には市所管の施設ということで現地調査のほうはさせていただいております。

（黒沢　仁委員）２つしかないのか。

（斎藤正臣委員長）そうですね。ほかにどこかありますか。

（遠藤幸一委員）パルセいいざか、福島テルサ、こむこむ。

（小野京子委員）こむこむ。

（斎藤正臣委員長）ホールはありますね。

（遠藤幸一委員）一応、ホールはありますよね。

（斎藤正臣委員長）アオウゼか。アオウゼもないな。民間施設も駄目なのでしょう。

（尾形　武委員）これから国際会議をパルセいいざかでやるでしょ。

（斎藤正臣委員長）これから２月にやりますので、見るとしたらパルセいいざかが主になるのかな。Ｗｉ―Ｆｉを設置したのでしたっけ。

（書記）これからの予定と伺っております。

（黒沢　仁委員）これからではな。これからやろうとすることは分かっているのだけれども。現地見たって何ともしようがないな。

（斎藤正臣委員長）ただ、これを行くのは１月ぐらいでしたっけ。１月に整備されているかどうかなのですけれども、その辺はどうですか。大体２月に会議あるわけだから。

（書記）会議は６月です。

（斎藤正臣委員長）６月だっけ。

（黒沢　仁委員）無理だな。

（斎藤正臣委員長）やっていないね。それを設置した後だったら、Ｗｉ―Ｆｉつながるのかとか見に行ったっていいのですけれども。

（黒沢　仁委員）これからやるのだというのではね。

（斎藤正臣委員長）だから、皆さんがいつも、テルサなんてしょっちゅう行っていると思うのですけれども、あんまり、どうなのでしょうね、聞くこともないのかなというふうに私は思ったのですけれども、私もしょっちゅう行っているので。でも、改めて皆さんが見たいというのだったらそれは全然いいと思うのですけれども。

（小野京子委員）見た方がいいのでは。

（黒沢　仁委員）現況を見てくればいいのか。

（斎藤正臣委員長）では、今のところどういうふうなのか、現地で設備面が足りないなと思っているところがあるのかもしれないですし。

（黒沢　仁委員）だったら逆に今後こういうふうな計画でここはこうなるとかそこの現場で説明を受けるのもいいのではないの。ここは６月までにはこうするのだ、ああするのだと。

（渡辺敏彦委員）今のままでは何で駄目なのだか、それが分からないのだよね。外国人が来るとか、Ｗｉ―Ｆｉを設置するとか。

（黒沢　仁委員）国際会議をやるには足りないのだということで設置するのでしょう。

（斎藤正臣委員長）そうですね。今回６月に国際会議をやるにあたって足りない部分を整備したというふうな。

（渡辺敏彦委員）だから、何で今のではできないのだいって。

（斎藤正臣委員長）足りないからだと思うのですけれども。

（黒沢　仁委員）国際会議なんて必要なかったから。

（斎藤正臣委員長）今までのお客さんがということですね。渡辺委員からもご意見がありましたので、それではパルセいいざかと福島テルサをまずは現状を確認するという意味で、現地の方からも、担当の方からもお話聞けると思いますし、皆さんからも今のようなご質問があるのであればぜひ現地調査をしていきたいと、そのように思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）ありがとうございます。それでは、現地調査を実施することに決定いたしました。

調査スケジュール案をご覧いただくのですけれども、資料１の１になりますね、これが現地調査を

するバージョンの調査スケジュール案でございます。改めて今後のスケジュールですが、現状や課題を把握するための当局説明をまず12月下旬に実施をしたいと思います。その後、現地調査を１月中旬に行うことといたします。続いて、参考人招致については１月下旬に予定しておりまして、結構タイトなスケジュールになってしまいますことはご了承いただきたいと思います。そして、行政視察については２月上旬に予定しております。最後に、委員長報告のまとめについては３月頃から検討を始めまして、６月議会での委員長報告を考えております。

なお、このスケジュールは現段階の想定でありまして、参考人招致や行政視察は相手方の都合もありますので、今後変わる可能性があるかと思いますが、ご了承お願い申し上げます。

何かこのスケジュール案についてご意見がございましたらお願いをいたします。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）それでは、このようなスケジュールで進めます。

次に、最初の調査となる当局説明の実施についてをご協議いただきたいと思います。

資料２をご覧ください。記載のとおりなのですけれども、まず日時は12月下旬、１時間30分程度、説明を45分、質疑を45分というふうに想定しておりまして、聴取内容としましては、まず（１）としまして、国際会議観光都市とは一体何なのですかということをまずお伺いします。そして、（２）、ＭＩＣＥの受入れ体制について。本市は、現在どうなっているのか、今回６月に１発目の国際会議を受け入れますけれども、これはどういった体制でどういうふうに受け入れるのかということです。誘致体制について、そして開催支援の取組について、おもてなしであったり補助金についてだと思うのですけれども。（３）、ＭＩＣＥ誘致の取組について。今回の誘致も含めて、今後東口再開発もできまして、その運営団体なんかも誘致に大きく関わってまいります。福島市当局、観光コンベンション協会、そして東口の再開発、こういったところの誘致団体がどういった役割で、どういうふうに今後戦略を練って誘致をしていくのかということについて、12月下旬段階での現状というものもご説明いただきたいなというふうに考えております。

こういった内容で当局説明を行いたいと思いますが、皆様からほかに何かこれを聞くべきだというようなところはございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）まだちょっと時間ありますので、やっぱりちょっとこれは聞いてもらいたいのだということがあれば正副のほうまで遠慮なくお申しつけいただければと思います。

では、一応当局説明実施内容案のとおりに聴取内容をしたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、実施日時は今後調整し、決定次第お示しをいたします。

最後に、その他に移ります。

委員の皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）私のほうからその他で１点あるのですけれども、皆さん、資料３はありますか。ちょっとこちらをご覧いただきたいのですけれども、これは別に今、今日何かを決定するということではなくて、その他として皆様に情報共有をしたいのですけれども、国際会議観光都市の一覧になります。こういった様々な都市が国際会議観光都市というふうになっているのですけれども、この中から行政視察の候補先を選んでいきたいなというふうに思っているのですけれども、どういったところを見に行こうかなというふうに思ったときに、例えば全然規模が違うところを見に行ったってしようがないような気がするのです。例えば我々も会派で長崎とかに行ったのですけれども、あっちはホテルがマリオットだし、国際会議場の広さなんて物すごいことになって、ＪＲ九州が全力を尽くしてやっているようなところで、圧倒されて帰ってきたのですけれども、どちらかというと我々が委員会で行くのだったら同じような規模のところを見に行ったほうがいいのかなというような、そういった思いが我々正副としてはあるのですけれども、皆さん、この行政視察の候補先として何かこういったところがいいという意見が特にあればちょっとこの段階で承っておきたいなと思ったのですが、何かありますか。

（渡辺敏彦委員）福島は何で認定を受けたのだっけ。温泉があってということなのかな。

（斎藤正臣委員長）多分要件としては国際会議をするにあたっての席数、会場あるいは宿泊先というものの一定の基準というのが決まっているはずなのです。それを何かしらクリアしたということになると思うのですけれども、国際会議観光都市といったって段階があるのですよね。本当に何千人規模、何万規模でできるところであったりとか、福島市みたいに最小規模みたいな感じでできるところというものがレベル的に分けられているというのは認識をしておりまして、先ほど私が申し上げたのは福島のような最小規模みたいなところの都市を見に行ったほうがいいのかなというような意味で申し上げました。

（渡辺敏彦委員）結局当局説明があると思うけれども、何で受けたのだ、例えば吾妻小富士があるとか、花見山があるとか、観光でしょう。四季の里とか、温泉が３つあるとか、それでなっているのであれば、それに似通った市を探さなければならないのでしょう。お城があるところといったってお城はないわけでしょう。考え方が違うでしょう。温泉がないところ行ったって温泉に泊まってもらおうというような話は聞けないし。

（黒沢　仁委員）あんまり難しいこと考えていたらどこへも行かれなくなる。

（渡辺敏彦委員）長崎は駄目だと言ったのでしょう。

（黒沢　仁委員）平成６年から令和６年まで認定の時期があるよね。その中でやっぱり平成６年だともうベテランだよね。そうすると、やっぱり最近だというと白四角とか、あるいは黒三角とか、黒四角は１つしかなかったのだな、青森しか。木更津あったか。

（斎藤正臣委員長）この辺が直近だと言っていましたね。

（黒沢　仁委員）だから、やっぱり平成22年あたりのちょうど10年以上ある程度経過した中でどういうふうに今進展しているか、そういうふうな調査の仕方もありかなと。

（斎藤正臣委員長）おっしゃるとおりでしょうね。この間の正副の打合せでもちょっと話してたのですけれども、結局うまくいっているところもあれば、なかなかやっぱり苦戦しているというところもあると思うのです。10年たってどうなのだということは本当に今黒沢委員のおっしゃったとおりだと思うので、そういったことも含めて見に行けるというのはすばらしいことだと思いますし、そういう感じで私はいいのかなと思うのですけれども。

（尾形　武委員）我々は、国際会議観光都市とは何ぞやということをまず理解しないと、どこに行ったらいいか分からないでしょう。12月末に当局の説明があるので、それをまず聞いて、こういうものだよということを我々がよく理解した上で、周辺とか、いろんな規模の大きさとかいろいろありましょうから、そこから考えても遅くはないのではないのかなと思うのですけれども。

（斎藤正臣委員長）そうですね。もちろんこの候補先を正副案として皆様にご提示するタイミングであったりとか、それを採決するのは当然当局説明の後だよね。そんなことない。

（書記）予定では次の委員会で決める想定でした。

（斎藤正臣委員長）次で決めるのですって。２月だから、そうですよね。間もなくと言っては間もなくなのです。だから、では逆に次の委員会で、今尾形委員からご質問のあった国際会議観光都市というのはそもそも何なのというところは資料としてちょっと皆様にご提示して……

（黒沢　仁委員）それは当局説明で出てくるでしょう。

（斎藤正臣委員長）もちろん出てくるのですけれども、ちょっと改めて皆様にご提示しますので、それを踏まえた上で我々は正副案を出しますので、皆様、国際会議観光都市はそのときご認識いただいて、これでいいとか、こうすべきだとかまたご意見をいただいて、採決に向かえばよろしいのかなというふうに思いますが、それでよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）分かりました。では、そのようにいたします。

（渡辺敏彦委員）２月ならば暖かい方に。

（斎藤正臣委員長）そこは最大限考慮したいと、そのように思います。雪で帰ってこれなくなったり、そういうことはありますよね。

では、よろしいでしょうか。

【「はい」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）ありがとうございました。

その他皆様からご意見なければ、以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午後１時18分　　散　　会

経済民生常任委員長　　斎　藤　正　臣